

# 資料1

## 各候補地の評価結果と比較

委員23名中、評価辞退2名あり

位置選定の視点			合計点(委員21名による)			平均点		
			A 自治医大北側 県有地	C 自治医大駅西側	F 国分寺庁舎	A 自治医大北側 県有地	C 自治医大駅西側	F 国分寺庁舎
項目	細目	評価の指標						
まちづくり	まちづくりの方向性との関係 (5)	下野市総合計画・都市マスタープランや合併協定との整合性があるか	77	88	67	3.67	4.19	3.19
	まちづくりの発展性 (5)	周囲に民間開発等による発展可能性の余地があるか	60	87	77	2.86	4.14	3.67
	周辺環境への影響 (5)	庁舎建設が周辺の生活環境(日照、通風、電波障害、自然環境、道路交通量、眺望等)に影響する恐れがないか	70	78	77	3.33	3.71	3.67
	都市基盤の整備状況 (5)	インフラ(上下水道)の整備は不要か	65	78	96	3.10	3.71	4.57
	都市機能の集積 (5)	他の官公署、金融機関、商業施設へのアクセスが便利であるか	52	84	69	2.48	4.00	3.29
	(25)	計		324	415	386	15.43	19.76
利便性	交通の事情 (5)	駅からの距離や移動経路など公共交通機関の利用に関する利便性、将来の高齢化社会への対応の容易性があるか	48	94	57	2.29	4.48	2.71
		主に都市計画道路網や幹線道路との位置関係など、自動車によるアクセスが便利であるか	65	88	74	3.10	4.19	3.52
		周辺道路が歩道付であるなど、自転車や徒歩によるアクセスが便利であるか	61	86	77	2.90	4.10	3.67
	人口の集積 (5)	下野市の人口重心であるか	80	82	56	3.81	3.90	2.67
		下野市の地理的重心であるか	82	84	59	3.90	4.00	2.81
	(25)	計		336	434	323	16.00	20.67
安全性・防災拠点性	防災上の拠点性、援助活動の容易性 (5)	災害時に他機関(消防、県)との連携、応援拠点として関係者、車両、物資等を受け入れるためのスペースの確保が容易か	67	80	72	3.19	3.81	3.43
	防災性 (5)	自然災害(地震・台風・洪水)に対する安全性があるか	63	85	81	3.00	4.05	3.86
	災害時の補完性 (5)	災害時に周辺道路が充実しており、庁舎が孤立しないか	57	78	78	2.71	3.71	3.71
	広域の連携 (5)	他都市との連携(陸路からの受け入れ)は容易か	62	84	77	2.95	4.00	3.67
	(20)	計		249	327	308	11.86	15.57
実現性・経済性	土地利用上の規制 (5)	現状の都市計画(線引き、用途地域)との適合性はあるか	73	77	69	3.48	3.67	3.29
	用地買収の難易度 (5)	用地買収は容易か	81	64	66	3.86	3.05	3.14
	用地買収の経済性 (5)	地価の高さは経済的か	62	72	71	2.95	3.43	3.38
	文化財の保護 (5)	文化財調査の規模及び調査期間が建設に影響する恐れがないか	64	76	62	3.05	3.62	2.95
	用地の利用状況 (5)	既存施設、建築物等の移転・除却の必要性がないか	100	55	61	4.76	2.62	2.90
	周辺インフラの整備 (5)	周辺道路の拡幅や庁舎への進入路の確保などにかかる事業費が小さいか	67	58	67	3.19	2.76	3.19
	(30)	計		447	402	396	21.29	19.14
合計			1356	1578	1413	64.57	75.14	67.29

20項目 × 5点 = 100点満点(1人あたり)

(2100点満点)

(100点満点)